



学校だより

平成29年 9月29日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.474

いじめをなくそう

校長 谷田 弘子

いよいよ運動会が明日に迫りました。
どの学年も熱の入った練習が続いていて、児童は明日を楽しみにしています。多くの保護者の方々、地域の方々に応援していただけると、児童の競技や演技が盛り上がると思います。今年度は、昨年度以上に「おもいやりゾーン」への希望が多く、大変窮屈な思いをされるかと思いますが、譲り合ってお座りいただきますようお願いいたします。

さて、10月は「いじめ防止・虐待防止月間」です。運動会後の1ヶ月、学芸会の練習が始まるまで、落ち着いた学校生活が続きます。じっくりと友達関係について考えることができる時期です。今月は「いじめ」について取り上げます。

平成25年、「いじめ防止対策推進法」が制定されました。子供たちが安心して学習や活動に取り組むために、いじめがなくなるようにする、いじめとわかっていながら、そのままにすることがないようにする法律です。その4条には、「児童等はいじめを行ってはいけません。」と定められています。また、9条には、「保護者は児童がいじめを行うことのないように、規範意識を養うための指導を努めるものとする。」とあります。

いじめとは、クラスや学校の人から攻撃されたり、無視されたりすることによって、心や体に痛みを感じることです。従って、いじめには、からかい、いやがらせ、悪口、かげ口、無視、仲間外し、避ける、脅される、暴力、持ち物を隠される、盗まれる、落書きをされる、無理矢理させられる、命令される、わざとぶつかるなどがあります。

なぜ、このようなことが起きるのでしょうか。一人ぼっちにならないために→グループをつ

くる→自分たちだけの居心地のよい世界をつくる→従わない人をいじめる→弱い人がいじめられる→周りは顔色をうかがって、言いたいことが言えなくなる→グループの言いなりになる、このような仕組みがあります。そして、なぜいじめがなくならないかと言えば、いじめる人やグループがストレス発散でいじめる。その周りには、おもしろがって一緒になっていじめる人がいる。さらに、その周りには、見て見ないふりをする人、関係ないと思う人、気付かない人がいる。一緒になっていじめたり、いじめを見て見ないふりをしていくかぎり、いじめはなくなりません。注意したら自分がいじめられる、本当はやめろと言いたいのに言えない、いじめられてるのは恥ずかしくて誰にも言えない。そうした周りの人たちの気持ちが、ますます良くない方向へ進んでいきます。まして、上の学年の子が下の学年の子をいじめるようなことはあってはならないことです。田二小から、いじめをなくしていきましょう。みんなの心がやさしくなる田二小、仲の良い田二小になることを全校児童と全教職員でめざしていくようにしていきたいと考えます。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう。

「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

「目」は、人の良いところを見るために使おう。

「手足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みが分かるために使おう。

五つの誓い(越塚勇人氏)より